

(様式1)

平成30年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 015	提案機関名 (一社) 神奈川県園芸協会 (県植木生産組合連合会)
<b>要望問題名</b> 本県独自の観賞樹品種育成の促進	
<b>要望問題の内容</b> 【 背景、内容、対象地域及び規模(面積、数量等) 】 ハナモモ照手やサルスベリシリーズに続く、本県を代表する独自の新たな観賞樹品種育成が強く望まれる。常性サクラ等の実用化を促進していただきたい。 その他塩害に強く観賞性の高いオオシマ系・マメザクラ系サクラや「花色が桃、黄、白」などの耐暑性シャクナゲ等「花が付き、シリーズもの複数品種、樹高が適度な大きさの樹木、」等が公共用樹でも、庭園樹としても市場性が高いと思われる。 本会の種苗販売事業で販売実績の多いのは民間育成のサルスベリ等花木である 観賞樹は増殖に年数を要するが、早期の品種育成・開発を要望する。	
<b>解決希望年限</b>	①1年以内      ②2～3年以内      ③4～5年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ④5～10年以内
<b>対応を希望する研究機関名</b>	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター    ②畜産技術センター    ③水産技術センター    ④自然環境保全センター
<b>備考</b>	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

<b>回答機関名</b>	農業技術センター	<b>担当部所</b>	生産技術部果樹花き研究課
<b>対応区分</b>	①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中    ③継続検討    ④実施済    ⑤調査指導対応    ⑥現地対応    ⑦実施不可		
<b>試験研究課題名</b>	(①、②、④の場合) 早咲き性のほうき性ハナモモの育成、枝垂れ性ヤポン新品種育成		
<b>対応の内容等</b>	新品種育成につきましては、現在早生のほうき性ハナモモおよび枝垂れ性のヤポンについて育種を進めております。現在、ほうき性のサクラ品種は当所での育成には取り組んでおりませんが、有望な品種について情報を収集しており、随時情報を提供いたします。観賞樹の品種育成については、ご要望の樹種が多岐に渡っていることから、現地と情報交換をしながら樹種を検索し検討してまいります。観賞樹の性質上、品種育成に年数を要しますので、生産現場と協力して取り組んでいきますので貴協会のご協力をよろしくお願いいたします。		
<b>解決予定年限</b>	①1年以内      ②2～3年以内      ③4～5年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ④5～10年以内		
<b>備考</b>			